

主要な事業（抜粋）

歴史街道整備事業：散策路・資料館の整備
 【継続】
 水環境保全整備：ホタルの生息調査【新規】
 障害者福祉計画の策定【新規】
 (仮称)阪神北広域小児急病センター設計費負担【新規】
 中小企業振興資金融資あつ旋制度【新規】
 清水仁頂寺線新設改良工事【継続】
 木間生旭ヶ丘線道路新設改良工事【継続】
 第二名神対策：環境現況調査【新規】
 大島小学校・楊津小学校改築事業【新規】
 つつじが丘小学校・白金小学校増築事業【新規】
 学校施設整備費：小学校耐震補強工事【新規】
 学校安全対策事業：ナンバーディスプレイ電話機の設置【新規】
 兵庫国民体育大会費【継続】
 救急活動費：公共施設にAEDの設置【新規】



昨年12月には月平均気温が20年ぶりの低温となり、日本海側を中心に記録的な大雪となりました。これにより除雪

2月24日に開会した第330回町議会定例会において、真田町長は、町政全般にわたる平成18年度施政方針を表明しました。これは、今年度に行う事業に対する町の考え方を示したもので、この施政方針の各施策や事業概要をお知らせします。全文は町ホームページに掲載しています。また、役場総合窓口にも設置しています。

真田町が平成18年度施政方針を表明

行政課題の解決に取り組むとともに、国が示しております新地方行革指針に基づき、職員定数や給与の適正化、指定管理者制度の導入による民間委託の推進など、行政全般にわたる改革を積極的に進め、地域の特色を生かし、創意と工夫を凝らしながら、愛着のもてるまちづくりに取り組んでまいります。

第四次猪名川町総合計画後期基本計画に基づき、本町の

特性である豊かな自然や、銀山地域をはじめとする貴重な歴史遺産を町内外に広くPRするための散策路や資料館を整備するとともに、自然再生、環境保全などの分野で相互に協力して地域の自然環境を守つていくため、新たに県立人と自然の博物館と包括的連携の協定を結び、清流猪名川を取り戻す町民運動をはじめとした取り組みのさらなる推進を図るなど、自然環境と調

和したまち、「人と自然がやさしくとけあい、未来に輝くふるさと猪名川」の実現に向けて取り組んでまいります。

安全で安心なまちづくりに向けては、「参画と協働の仕組みづくり」をはじめ、「地域担当の充実」、「子育て支援の充実」、「高齢者の健康増進対策」、「団塊世代の新たな生きがいづくり」、「地域の自主防災」

力の向上」など、さまざまな課題が山積しております。

これらの課題を解決するためには、一体的に捉えた施策が進められることが重要です。

2面「地域コミュニティ部門を設けるなど63人を異動」
 3面「第3期介護保険料が決定」
 4面・5面「施政方針に対する問い合わせ」
 6面「情報ポケット」
 7面「図書館、相談」
 8面「いながわ特派員報告」

教育文化のまちづくり
 学校施設につきましては、耐力度不足による校舎改築を行っています。楊津小学校および大島小学校は、新年度より施設整備工事を進めるほか、猪名川小学校および松尾台小学校の校舎耐震補強工事などを実施してまいります。

学校施設につきましては、耐力度不足による校舎改築を行っています。楊津小学校には子育て支援ホームヘルパー派遣制度を新設し、産後の家事援助を行うことにより、負担の軽減を図つてまいります。

创意と工夫を凝らしたまちづくり

全て快適なまちづくり
 全ての高い生活を実現する安
 安全なまちづくり
 まちづくり
 魅力ある都市環境を築く

農業生産基盤である農地の整備を進めるため、笠尾地区のぼ場整備事業を進めるとともに、新たな手である集落営農組織の育成に取り組んでまいります。

まちづくりの実現に向けて
 まちづくりの実現に向けて
 まちづくりの実現に向けて

健康福祉のまちづくり
 健康福祉のまちづくり
 平成17年度に整備いたしました「ふれあいの径」につきましては、新年度から供用開始となりました。このような状況のもと、本町は、地域自治組織として、また基盤的自治体として、今後さらに複雑多様化する

平成17年度に整備いたしました「ふれあいの径」につきましては、新年度から供用開始となりました。このように、地域の行政運営は、固定資産税は収となるなど厳しい財政状況となつております。

また、昨年度に策定しました「いなつきらきらプラン（猪名川町次世代育成支援行動計画）」に基づき、新年度には子育て支援ホームヘルパー派遣制度を新設し、産後の家事援助を行うことにより、負担の軽減を図つてまいります。

まちづくり
 まちづくり
 まちづくり

まちづくりの実現に向けて
 まちづくりの実現に向けて
 まちづくりの実現に向けて



町の魅力を発信する観光ボランティアガイド